

## 「第16回 仏教章修得のための研修会」開催要項

1. テーマ めざせ！仏教章！
2. 趣旨 本願寺派スカウト指導者会のスローガン「仏教章を胸に」を体し、研修会を通じ仏教章修得に必要な知識・技能などを身につけると共に、真宗スカウトとしての自覚を促す。また、この機に友の輪を広げ、お互いの生き方を確かめ合い「ちかいとおきて」「やくそくとおきて」の理解と実践をより深め、心身共に豊かな聞法者を育成することを目的とする。
3. 期日 2026(令和8)年3月29日(日)～31日(火) [2泊3日]・・・日程：別紙参照
4. 会場 【研修】本願寺伝道院(〒600-8346 京都市下京区玉本町196／TEL:075-371-9300)  
【宿泊】学林寮(同上／TEL:075-371-5202)
5. 参加資格 本願寺派仏教章修得をめざす中学2年生以上、24歳以下(2026年3月29日時点)のスカウト  
※ボーイスカウト隊所属のスカウトについては1級以上に限る  
※得度済みの方については参加対象外です。参加を希望される場合は事務局までご一報ください
6. 事前提出物 (1)「釈尊の伝記」をレポートにまとめる(800字程度)、まとめた感想(400字程度)  
(2)「親鸞聖人の伝記」をレポートにまとめる(800字程度)、まとめた感想(400字程度)  
※参考書籍：『浄土真宗本願寺派スカウトハンドブック』※amazonプリントオンデマンドで購入可能  
※3月9日(月)までにスカウト指導者会宛、郵送またはメールにて提出のこと
7. 募集人数 30名
8. 参加費 15,000円
9. 帰敬式冥加 受式者のみ：10,000円(成人※18歳以上)／5,000円(未成年)  
※帰敬式は、阿弥陀さま・宗祖親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則として本山で門主によって執り行われ、三帰依文を唱えて、おかみそりを受け、法名をいただきます
- ※法名を内願される場合は、左のQRコードのリンク先(本願寺HP)から「受式願(内願用)」をダウンロードし、記入・押印のうえ所属寺院住職から事務局宛にお送りください。
- 1月20日(火)【必着】(別途1万円以上の懇意をご進納ください)
10. 申込方法 参加願書に4cm×3cmの上半身写真を添付のうえ、所定の事項を明記し、下記の書類を添え、現金書留にてお申込みください。
- 【提出書類】① 参加願書・推薦書／②「参加費」及び「帰敬式冥加(受式者のみ)」

11. 申込 〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル  
問い合わせ 浄土真宗本願寺派宗務所内 教化部〈本願寺派スカウト指導者会担当〉  
TEL : 075-371-5181 / FAX : 075-351-1211 / mail : [scout@hongwanji.or.jp](mailto:scout@hongwanji.or.jp)
12. 応募締切 2026(令和8)年2月24日(火)【必着】  
※締切日前であっても、定員になり次第受付を締め切らせていただきます。  
※参加者が過半数に満たない場合は、中止となる場合があります。
13. 許可通知 締切後、書類審査のうえ参加者を選定し、各自に「参加許可証」を送付いたします。
14. 持参品 念珠、式章(帰敬式受式済者)、参加許可証(後日送付します)、健康状況書、スカウト聖典(本願寺派スカウト指導者会発行)、仏教章修得に向けたテキスト(本願寺出版社発行)、浄土真宗本願寺派スカウトハンドブック、ボーイスカウト歌集またはガールスカウト歌集(日本連盟発行のもの)、筆記用具、ソーアイングセット、健康保険資格確認書(またはマイナ保険証)、活動できる服装・靴、上履き、防寒具、コップ、寝間着、雨具、入浴等その他研修に必要なもの  
【本願寺派関係書籍 購入方法】  
スカウト聖典(1,340円・税込) : 本願寺出版社で販売  
浄土真宗本願寺派スカウトハンドブック(990円・税込) : amazonプリントオンデマンドで販売  
仏教章修得に向けたテキスト(660円・税込) : 本願寺出版社で販売  
※ゲーム機、iPod等の音楽プレーヤー、お菓子、雑誌類は持込み禁止です  
※研修会中は、スマートフォン・携帯電話の使用ができません。(受付時にお預かりさせていただきます)
15. 服装 ボーイスカウトは制服・正帽または副帽、ガールスカウトはガールスカウトユニフォーム  
※アクセサリー(ピアス、指輪等)は着用不可。つけてこられた場合は、外していただきます  
※記章の着用、身だしなみにつきましても、所属指導者の充分なる事前の指導をお願いします

#### \*留意事項\*

- ◎本研修会のみで仏教章は修得できません。研修会終了後、教導者(浄土真宗本願寺派僧侶)の指導のもと「家庭勤行の実践」「地域ならびに浄土真宗本願寺派寺院への奉仕」が必要となります。浄土真宗本願寺派以外の宗旨で本研修会を受講希望の方は、本研修会が浄土真宗本願寺派の門徒を育成したいとの願いのもと開催されますことを、ご理解のうえご参加ください。
- ◎体調不良等の理由により研修途中で参加中止となった場合は、保護者に迎えに来ていただく場合があります。
- ◎前日までに連絡なく当日欠席された場合や、研修途中で参加中止となった場合は、参加費の返金はいたしません。

以上

時間	29日(日)	30日(月)	31日(火)
5:30		起床・洗面・寝具整頓	起床・洗面・寝具整頓
6:00			
6:30		晨朝参拝 写真撮影	本願寺
7:00		朝礼	本願寺
7:30			
8:00		朝食	学林寮
8:30			
9:00			
9:30		家庭勤行②	
10:00			
10:30		休憩	
11:00		親鸞聖人の伝記	
11:30	集合		
12:00		真宗教義	
12:30	受付・点検		
13:00	開会式 結隊式		
13:30	オリエンテーション		
14:00	班会議		
14:30	仏教章の意義		
15:00	休憩		
15:30	スカウツオウン		
16:00	休憩		
16:30	宗派について 仏教行事について		
17:00			
17:30	休憩		
18:00	家庭勤行① 莊嚴・作法		
18:30	夕食	学林寮	夕食
19:00	移動		移動
19:30	入浴	聞法会館 地下1階	入浴
20:00	移動		移動
20:30	自主学習 (STA)		自主学習 (STA)
21:00	班長会議		班長会議
21:00	班集会		班集会
21:30	就寝勤行		就寝勤行
22:00	消灯	学林寮	消灯
			学林寮

# 「第16回仏教章修得のための研修会」参加願書

あなたの信仰する宗旨は何ですか (○をつけ、浄土真宗本願寺派以外は宗派名を記入する)		→ 浄土真宗本願寺派		
所属寺住職 署名認印	教区	組	寺 印	
上記で、浄土真宗本願寺派以外の宗旨を選択された方は、下記欄にご記入ください。				
研修会終了後の教導職（浄土真宗本願寺派僧侶）予定者が → いる ・ いない				
おられる方 →	教区	組	寺 名前：	
ふりがな 本人名前				写真 (上半身) (4cm×3cm)
生年月日 ※年齢は申込時のもの	西暦	年平成	年 月 日生 (歳)	
現住所 (参加許可証送付先)	〒 TEL ( ) -			
学校名または勤務先		学年または所属部署名		
所属隊・部門	B S (県)連盟 第 団 隊			
	G S 連盟 第 団 部門			
現在の役職・級				
帰 敬 式 (○で囲む)	受式する（法名内願する/内願しない） ・ 受式済 ・ 受式しない			
<b>保 護 者 記 入 欄</b>				
(参加者名前) を研修会に参加させますので、よろしくお願ひいたします。				
保護者名前 印				
※1 本人の健康状態・その他本人に関して事務局が知つておくべき事柄（例えはアレルギー等の疾患）、または要望等があればご記入ください。				
※2 研修期間中に参加スカウトの写真撮影を行い、その写真をスカウト指導者会のHPや会報(web上に掲載)する場合がございます。写真掲載について、ご回答ください。→<写真の掲載について> 可 ・ 不可				

上記「私の信仰する宗旨」に**浄土真宗本願寺派以外の宗派名**をご記入された方は、本研修会が**浄土真宗本願寺派の門徒**を育成したいとの願いがありますことを、ご理解のうえご参加ください。

なお、保護者の方も同様にご理解のうえ、認印いただきますよう重ねてお願いいたします。

## 「第16回仏教章修得のための研修会」推薦書

## ◎所属隊隊長・所属部門リーダー 推薦書

### 推薦理由：

(県)連盟 第団 隊 隊長  
連盟 第団 部門 リーダー

名 前印

### ◎ 所屬團委員長 推薦書

### 推薦理由：

## 連盟 第四回

團委員長名前 印

<修得研修会>

個人装備点検表チェックリスト 氏名 \_\_\_\_\_

2枚配付／1部提出・1部個人管理

				有無チェック
1	参加許可証	2	個人装備点検表チェックリスト(2枚)	
3	念珠	4	式章 (持っているスカウト)	
5	スカウト聖典	6	スカウトソング集	
7	筆記用具	8	健康保険資格確認書 (またはマイ保険証)	
9	仏教章修得に向けたテキスト			
10	浄土真宗本願寺スカウトハンドブック			
11	制服			
12	持薬 薬名 ( )			
13	着替え (活動着・寝間着・下着・靴下等)			
14	防寒着			
15	雨具 (雨天で活動できるもの ※傘は不可)			
16	タオル (バスタオル含む)			
17	入浴用具 (シャンプー・ボディーソープ等)			
18	洗面用具 (歯ブラシ・歯磨き粉等)			
19	マイカップ			
20	水筒 (必要と思うスカウトのみ)			
21	雑巾 1枚			
22	室内履き (上履き等かかとがあるもの ※スリッパ不可)			
23	裁縫道具 (ソーイングセット)			
24	その他必要なもの			
25				
26				
27				
28				
29				
30				

預けたもの 袋に入れて封をして名前を記入する。

1	携帯電話
2	財布
3	
4	
5	

<修得研修会・携行品リスト>

1	参加許可証	2	個人装備点検表チェックリスト(2枚)
3	念珠	4	式章 (持っているスカウト)
5	スカウト聖典	6	スカウトソング集
7	筆記用具	8	健康保険資格確認書 (またはマサニイ保険証)
9	仏教章修得に向けたテキスト		
10	浄土真宗本願寺スカウトハンドブック		
11	制服		
12	持薬 薬名 ( )		
13	着替え (活動着・寝間着・下着・靴下等)		
14	防寒着		
15	雨具 (雨天で活動できるもの ※傘は不可)		
16	タオル (バスタオル含む)		
17	入浴用具 (シャンプー・ボディーソープ等)		
18	洗面用具 (歯ブラシ・歯磨き粉等)		
19	マイカップ		
20	水筒 (必要と思うスカウトのみ)		
21	雑巾 1枚		
22	室内履き (上履き等かかとがあるもの ※スリッパ不可)		
23	裁縫道具 (ソーイングセット)		
24	その他必要なもの		
25			
26			
27			
28			
29			
30			

## 浄土真宗本願寺派ボーイスカウト 佛教章課程認証基準

課 目	内 容	第16回佛教章修得のための研修会における認証方法
( I ) 佛教章の意義	佛教章と技能章との違いを理解する	講義(梁瀬所長)
	「ちかい」「やくそく」「おきて」の意味を理解する	
	スカウト運動になぜ佛教章があるのかを理解する	
( II ) 宗派について	宗名・宗祖名・宗派名を覚える	確認テストにおいて基準の点数以上
	ご本尊の御名を覚える	
	本山の寺号を覚える・所在地を知る	
( III ) 荘厳・作法について	お仏壇の意義とお莊厳(三具足)を正しく知る	確認テストにおいて基準の点数以上
	合掌・礼拝、お焼香が正しくできる	STA
	仏旗の意味を理解し、意義と扱い方を正しく理解する	確認テストにおいて基準の点数以上
( IV ) 家庭勤行	正信偈六首引(唱えることができる)	STA
	讚仏偈・重誓偈(唱えることができる)	
( V ) 佛教讃歌	敬礼文・三帰依文・さんだんのうた・念佛	STA
	真宗宗歌	
	恩徳讃	
( VI ) 佛教行事について	佛教行事の意義を知ること (修正会、涅槃会、彼岸会、花まつり、宗祖降誕会、盆会、成道会、報恩講、その他)	確認テストにおいて基準の点数以上
( VII ) 釈尊の伝記	釈尊のご生涯を述べること	確認テストにおいて基準の点数以上 事前レポート
( VIII ) 佛教の教え	「縁起の教え(佛教の根本原理)」を述べること	確認テストにおいて基準の点数以上 事前レポート
	「四諦・八正道」・「法印」のいずれかについて述べること	
( IX ) 親鸞聖人の伝記	宗祖親鸞聖人のご生涯を述べること	確認テストにおいて基準の点数以上 事前レポート
( X ) 真宗教義	「阿弥陀如来の本願」を述べること	確認テストにおいて基準の点数以上 事前レポート
	「阿弥陀如来と釈尊の関係」を述べること	

※ 研修期間中、上記方法で認証を受けた課目については、証明書をお渡します。

## 食事のことば

本研修会において、食事の際に、浄土真宗本願寺派「食事のことば」を唱和いただきます。研修会当日までに覚えてきてください。

### [食前のことば]

(合掌)

【代表】<sup>おお</sup>多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。

【みんな】<sup>ふか</sup>深くご恩を<sup>おん</sup>喜び、<sup>よろこ</sup>ありがとうございます。

### [食後のことば]

(合掌)

【代表】<sup>とうと</sup>尊いおめぐみをおいしくいただき、ますます御恩報謝につとめます。

【みんな】おかげで、ごちそうさまでした。

### [食事のことば] の意義

「食事のことば」をつねに自ら声に出すことによって、食事はただ漫然と食物を摂り、栄養を補給するものではなく、目の前の食事には、そこまでに至る大きなおかげとめぐみがあることに気付きます。そのことによって、ものの本当の価値を見出だす人間性が養われていくことになるでしょう。